

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
高山地区

平成24年1月

大阪府豊能町

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込				理由	改善策の方向性	
指標1	地区来訪者数	人/年	450	700	923	確定 見込み ●	○	あり なし	1,333	H23年3月31日	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交流拠点として整備された旧高山小学校を活用したイベント開催等により地区来訪者数が増加した。
指標2	狭隘道路率	%	68.8	35.9	35.9	確定 見込み ●	○	あり なし	35.9	H23年12月1日	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	用地交渉等が難航し当初計画よりも完了時期が遅くなったが、狭隘道路の拡幅整備による幅員4m以上の道路網が形成され、地区の安全性が向上した。
指標3	消防水利充足率	%	50.0	70.0	70.0	確定 見込み ●	○	あり なし	70.0	H23年12月1日	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路拡幅と連動して消火栓の整備を行うことができ、地区のほとんどが有効水利範囲内にふくまれ地区の安全性が向上した。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込				理由	改善策の方向性	
指標1	消防活動困難区域率	%	27.5	/	2.0	確定 見込み ●	/	あり なし	2.0	H23年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路拡幅と消火栓の整備を同時に行ったことで、消防活動が困難な区域が減少し、地区の安全性が向上した。
指標2	緊急車寄付可能住宅(世帯)率	%	34.4	/	75.0	確定 見込み ●	/	あり なし	75.0	H23年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	狭隘道路の減少で緊急車の寄付可能な住宅が増加し、地区の安全安心の向上に寄与することができた。

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部住民と農村の交流の促進</li> <li>高山コミュニティセンターの活用</li> <li>観光客の増加とにぎわいの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいファームの実施や毎月1回のペースでの体験事業の実施</li> <li>バザールの開催や当該地区を起点とした山歩き</li> <li>高山右近の生誕地をPRするとともにキリシタンに関する史跡等の活用を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの都市住民の方が参加され交流を図れた</li> <li>観光ボランティアガイドを活用し、ガイドツアーを実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの方が高山を訪れるよう魅力的なイベントを継続的に実施していく必要がある</li> <li>平成27年の高山右近帰天400年に向けあらゆる機会に高山をPRをしていく必要がある</li> </ul>
<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	<p>町内外の都市部住民によるイベント運営での協働やマンパワーの活用による地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部住民のボランティアによる遊休地の再生、草刈り等の維持保全活動を推進するとともに里山の風景の保持に努める</li> <li>バザール参加者(都市部住民)による期間限定カフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市住民のボランティアを活用し遊休農地を解消するとともに景観の保持に努めた。また、遊休農地解消地での棚田でのイベントを実施した</li> <li>バザール開催により、都市部住民によるイベント運営のきっかけができ、さらにカフェの開催で新たな交流を生み出すことができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地解消に向け今後も都市住民のボランティアを活用する</li> <li>今後も地域外の住民によるイベントに対して、ソフト面で支援する</li> </ul>
	<p>高山右近に関連する新たな地区の特産物の開発や歴史的、文化的な観光資源の発掘による魅力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦国のキリシタン大名である高山右近の生誕地である高山を観光地としてPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ボランティアガイドを活用し、ガイドツアーを実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年の高山右近帰天400年に向けての具体的なイベントの実施</li> </ul>
	<p>高山コミュニティセンターの、町行政から独立した管理・運営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日からの地元への移管に向けて協議</li> <li>民間業者による活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、地元自治会と指定管理・民間業者による活用に向けて調整中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日より指定管理の予定</li> </ul>

様式4-④フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			